

## 令和元（2019）年度 第3回浪岡自治区地域協議会 《概要》

■日 時 令和元年6月28日(金)午前10時

■場 所 浪岡庁舎2階 大会議室

■出席者

○委員

一戸 善正、伊藤 芳男、小倉 保英、工藤 修一、佐藤 二彦、山内 一修、  
佐藤 文一、清野 葭子、沼宮内 春雄、奈良岡 寿広、山内 行雄、山内 了介、  
長内孝緑、常田 あきえ、

欠席委員：鎌田 洋子、下山 義昭、前田 康弘、山田欣也、藤本 隆平、  
後藤 公司、

○職員

浪岡区長：棟方 牧人、浪岡事務所副所長：三浦 大延

浪岡事務所次長：小笠原 聡、浪岡事務所総務課長：小倉 信三、

同課主幹：鳴海 則子、同課主幹：西村 公誠、同課主査：葛西 麻紀子

教育委員会事務局文化財課主幹：児玉 大成、

浪岡教育事務所教育課主幹：長谷川 亘、地域づくり振興課長：木村 浩一

事務局（地域づくり振興課）：工藤 一天、田中 綾子

■会議内容

## 案 件

### 青森市中世の里元気チャレンジ活動支援事業について

浪岡事務所総務課から、「令和元年度青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金（新規）申請事業 浪岡自治区地域協議会の評価集計結果」の資料等に基づき説明。（別添資料参照）

#### ◎委員からの主な意見等

委 員 事業実施者が行った自己評価の中で、事業に参加された方は満足を得ることができたかどうかを問う項目がありますが、「満足できた」というところは、疑問に思いませんが、「わからない」と答えている事業に関して、担当者は何かアドバイス等していますか。

浪岡事務所 総務課 この資料は実施団体から提出された実績報告の自己評価をそのまま転記しています。報告を受ける際に満足の度合い等については、確認しています。

委 員 事業者を確認したようですが、事業実施にあたり、参加する方が満足することが、事業の継続につながるのではないのでしょうか。

副所長 「わからない」の回答は、実施団体から出たもので、参加者の満足度を調査していなかったなどの理由が考えられます。この回答項目が適切かどうかも含めて検討し、来年度からは報告できるようにしたいと思います。

委 員 「わからない」というのが自己評価であれば、あってはいけないと思います。次に繋がるよう、どうすればいいのか考えてもらわないといけないと思います。

民間であれば、必ず途中で軌道修正したり、改善したり、みんなでより良くします。考えることにより、次に同じような事業をやる人の参考にもなります。

## 案 件

### 青森市中世の里歴史文化的アメニティ形成事業について

浪岡事務所総務課から、「青森市中世の里歴史文化的アメニティ形成事業の進捗状況」の資料等に基づき説明。(別添資料参照)

#### ◎委員からの主な意見等

委 員 北畠の城跡から約6千枚の古銭が過去に発掘されましたが、現物はもちろん、写真等も見ることがありません。そのままにしておくと錆びて、古銭ではなくなります。現物が無理なら写真でも展示するなどしてはどうですか。また、専門家等に研究してもらったりしましたか。古銭の山を見たことある人はいないのではないですか。

浪岡事務所 正確には5,971枚が内館から出ています。中世の館の2階収蔵  
地域づくり 庫に保管されています。出た時は、100枚で紐に通し一緡(さし)  
振興課 で一本になっているものが、59本とバラで71枚が出てきました。写真も白黒、カラーライド等あります。専門の研究者に依頼し、報告書もありますが専門的なことなので表には出したことがありません。6,000枚の古銭を展示しても一般の方には、同じものが山積みになっているだけにしか見えないと思います。現在は古銭に数珠が巻きついた状態で出てきたものを展示しています。

中世の館の展示については、教育課に要望いただければ検討していただけると思います。

委 員 昔、子供が夏休みに発掘体験をしたときに、その古銭が出ました。子供が興奮して帰ってきたことがありました。当時の子供たちには是非見てもらいたいので展示していただきたいと思います。

委 員 知っている人がいることに驚きました。古銭は浪岡の宝だと思います。是非展示していただきたいと思います。全部じゃなくても一部でもいいです。浪岡のすばらしさをもっと発掘できるのではないですか。

議 長 有効な活用方法を検討していただきたいと思います。

質問します。基金残高の1,179万はアメニティで使うのですが、令和元年度チャレンジ事業の公共が1,000万円、ビジネスが900万円、これらを募集して応募者が少ないため、再募集します。令和2年度もありますが、ビジネスで今までこんなに使われることがないままなので、令和3年3月まで有効に使おうということですが、見込みの1,100万円を入れてもこんなに余ります。その場合、まだまだ眠っている浪岡の財産を掘り起こし、後世に伝承、伝達できるよう準備することが大事だと思います。余ったらやりたいことを行政のほうからでも挙げておくべきではないかと思いますが、どうでしょうか。

委員 参考のひとつ。浪岡城跡の桜に3年ほど前に鳥のウソがきて、花芽を食べて桜が咲かなかったことがあったが、剪定したら良くなりました。

思うに、木に虫がいてそれをウソが食べに来ていたのではないのでしょうか。剪定したら、ほとんど来なくなりました。関連性はわかりませんが、今後も手をかけてもらいたいと思います。

議長 桜の管理は樹木医と相談しながら、継続事業で実施しています。ウソも駆除できればいいのですが、鳥なので飛んでくるし、大変だと思います。

区長 樹木治療にいくらかかるのかわかりませんが、浪岡地域振興基金であるので、浪岡のために使いたいと思います。

委員 湿生花園の桜にはウソは来ていませんか。

次長 昨年は来ていませんでした。2年前は、花岡公園も湿生花園も桜がやられました。浪岡病院近くの緑道公園の桜は、人通りがあるためか大丈夫でした。

議長 アメニティは、環境整備など後世に残るものだと認識しています。来年度に向けたビデオ制作事業のむつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成金の目処はあるのでしょうか。応募しないとわからないのでしょうか。

区長           はい。

議長           264万円が却下になったらやれますか。

副所長        このことについては、既に市長には説明をしました。市長の了承はまだ得ていませんが、観光課で制作したビデオには浪岡がまったく出てこないことから、是非作りたいと思います。もし、むつ・小川原の助成金がなくても、アメニティ事業として、不足分を使わせていただきたいと考えています。

委員           どのくらいでできるものでしょうか。高ければいいというものでもないが、効果が上がるようにお願いします。確かに浪岡のPRはできていません。

議長           中途半端じゃなく、見積もりも3段階くらいのランクで、このレベルでこの程度のものでできるとかあると思います。

委員           北京万博では、相当お金がかかっているのを見ました。そういう、アニメなども少し取り入れても実施する必要があると思います。

副所長        私どもは、やる気はおおいにあります。しかし、市の内部で検討を進めて行った結果、どういう判断がされるかということもあります。しかしながら、確定したことではないにせよ、市長まで企画説明を持っていく覚悟はあります。

議長           ビジネスプログラムは持ち出しはあるが、アメニティに自己資金は入らないのでしょうか。

副所長        ほぼ全額です。

議長           その他になければ、案件については終了します。

